

12月の暮らし

冬休みの子どもの  
家庭教育

# 広報かわにし

発行者 川西町役場 編集人 星名四郎  
発行所 川西町 印刷所 白南風社  
(町長 中村杜吉) 定価 1部5円

人口の動き  
12月1日現在  
男 6,680人  
女 6,939人  
計 13,619人  
世帯数 2,705世帯



## 十二月の行事

- 一日 歳末助け合い運動月間
- 二日 全国防火デー
- 三日 仙田寄宿舎完成祝
- 三日 川西中学建築委員会
- 六日 中央公民館引越し
- 十日 うまい米づくり表彰式
- 十一日 農務局長会議 役場
- 十三日 国土調査委員会 役場
- 十四日 仙田地区婦人学級研修会 義士祭
- 十五日 桶地区婦人学級研修会 狩猟解除
- 十八日 町農業委員会 役場
- 十九日 仙田納税組合会 支所
- 二十日 川西中PTA総会
- 二十日 里地納税組合会 役場
- 二十七日 町会 二日間
- 二十八日 御用納め

## テレビこそくらえ!

いつか、テレビの普及状況を調べてみて、町にもマスコミのあらゆる機能が入りこんだことを感じとり、テレビ・チャイルドの問題とか、生活が受身になる心配はないかといってみることがある。二年ほど前だったと思う。

そのころのテレビの実質台数は三五〇台くらいだった。以後も相対的な台数のひびはあると思っていたが、その普及速度はまったく想像外で、「三五〇台という数字は、頭打ちではなからう」程度の週刊紙の何種類かを読みあさる。あのころのじぶんの想像がはずかしくなるのである。あらためて普及度としてみよう。

## 町づくり

調べてみる気も起きてこない。とまたま「コタツでテレビを見る世の中になった。あんまり進歩が早くて夢みたいだ」というある婦人の声を耳にして、もう一度テレビ(マスコミ)を考えてみた。

この婦人が進歩といったのは、あくまで物質的のことだと思ふ。そして、斬並みに普及したテレビをみて、生活が消費的になったことを強く感じた。そしてさらに、

「自分」という、ひとりの確固とした人間でなくて、同じテレビの映像を見、手にあるのもだれもが持っている印刷物でしかない。自主性がなく生活が受身になりオレらしさがどっかへ消えてしま

物質面で生活が豊富になり、消費生活も以前とは比較にならないほど徹底して、はたして、生活が進歩したといえるものか疑問をかんじた。

社会の古いマイナスをとり、係者が努力している過程で、みんなの生活が消費的なのに集中し物質的な欲望はほとんど満たされる世の中になった結果、生活態度のうえですべて新しいマイナスがでまがりつつあると思つたから。

家にいればテレビ・ラジオにかじりつき、ちよつと旅行すれば、週刊紙の何種類かを読みあさる。テレビはおもしろいし、新聞、雑誌も興味を惹かしてくれていく。画一化した娯楽を毎日のように楽しんでいられる。そしてそこから、娯楽を楽しむという生活からめげだされなくなるような気がして、ものすごく不安になるのである。

### 町議会報告

## 橋診療所 再建整備計画等を議決

### 白倉校への教材寄付も採納

前回の第九回定例会以来約五十日ぶりで去る十一月二十六日に第十回臨時会が招集された。

この臨時会のおもな議題は、懸案の橋診療所の再建整備、いわゆる赤字処理の問題で、これに関連する追加予算等四件、ほかに白倉校に対する教材寄付の採納、学校建築会計追加更正予算、町道改修工事施行の件等合計七件が上程され、これらの全部がそれぞれ当局の原案どおり可決決定された。

### 六五〇万の借入で赤字を解消

### 橋診療所 規模を縮小して再出発

ここ数年來悪化の傾向をたどっていた橋診療所の財政は、昨年になって急速に経営不振の度を深め、三十六年度の決算において遂に六百七十一万八千円の赤字を出す結果となった。

この傾向は本年度にはいっても改善されていない状況なので、当局においては年初以来その対策について検討していたところ、今回國保連合会の融資金庫から六百五十万円の融資を受けて、昭和四十四一年までの五年間に赤字を解消して再建をはかることとなり、その年次計画を付して提案されたものである。

再建整備資金借入れの条件は元金六百五十万円に対して利率は日歩一銭九厘、据置期間として五年間の元金均等年賦償還となっている。したがって、ことし昭和三十七年度から四十四年度まで毎年元金百三十万円と年度相当の利

### 区校倉白 映写機・放送施設 等に五十万を拠出

この議会の第一号議案として冒頭白倉校に対する教材寄付の採納願いが上程された。

十一月十六日付で同校区(代表者江口定之)から寄付されたエルモAR一六型映写機一台及び校内放送施設一式は、東京方面で成功している白倉部落出身者三十七名から総額四十九万五千円の寄付が寄せられた中から購入されたもの。この施設は、いずれも教育上欠くことのできないもので、学校当局多年の要望にこたえて部落代表者が奔走したところ、中には一人で十万円、五万円の大金を拠出したものもあり、郷土の視聴覚教育振興に寄せられた熱意の結晶として実現したものである。

町当局としても、ただちに放送室の整備とこれに伴う理科室の模様替えを行なってこれを受け入れるとともに、寄付をしてくれた三十七氏に対しては町長からそれぞれ感謝状を贈った旨の報告があったので、満場一致これを採納した。

### 追加 不足分は予備費を充用

一般会計追加更正予算のあらましは次のとおり。  
消防費の追加三万五千三百円は、七月十日に行なった交通安全宣言に伴って実施した一連の交通安全施策に要した経費で、千手小学校教員隊に対する謝金、啓蒙

宣伝映画フィルム代その他である教育費十六万一千四百円は、千手小学校の給食及び教頭の長期講習受講等に伴う教員不足を補うための町費教員の給与七万円、大倉冬季分校便丁給一万六千円のほか高仙田分校へミシン一台、上野小寄宿舍の洗たく機、地教委十周年記念行事費九千九百円、桐谷小中学校運法負担金二万二千円等である。

諸支出金の追加二百四万四千七百四十円は、別項橋診療所再建整備資金本年度分償還元利金百四十二万四千七百四十円と、学校建築会計への繰り出し金五十五万、ほか一行的の演劇興行料七万円と十日町実業高校設備負担金五万円の追加である。

以上の合計が二百二十四万一千四百四十円となるが、これに対して財源は、地方交付税の追加がきりりの六十九万円、財産収入として町有住宅貸付料収入二十一万円、育英資金貸付返還金十九万三千四百七十二円、計百九万三千四百七十七円で、差し引き不足分百十四万七千九百六十八円は予備費から充用して収支の均衡をはかった。これによって一般会計の累計は一億三千四百九十一万八千七百九十七円となった。

### 学校建築会計 移築費等 五七〇万を追加

学校建築特別会計の今回の追加は総額五百七十三万八千八百円である。追加財源は、國庫補助金の追

加二百二十三万八千八百円、一般会計からの繰り入れ五十万円、町債の追加三百万円となっている。支出は、川西中学校建築について請負単価の増額分二百二十万、千手校舎の移築費三百万が主要部分を占め、他は水道施設、ポンプ舎等の施設費四十九万、原材料費十三万三千円、工事監督等賃金入校式経費等となっている。

この追加によって学校建築特別会計の累計総額は才入・才出とも三千四百一十一万四千三百円となった。

### 山間地における酒類の時販売場の設置について

酒類の密造防止については、あらゆる機会を利用して宣伝に努めてまいりましたが、山間地の部落の方がたから冬期間における酒類の購入が不便のためやむなく密造酒を造らざるを得ない、不便の地

にせひ臨時販売場を設けてほしいという声がありましたので、左記要領で冬期間に限り酒類の時販売場を設置し、みなさんの便と密造酒の根絶を計ることといたしました。どうぞご利用くださいまして、この悪習をなくすようにご協力くださるようお願いいたします。

- 一、販売場の設置部落
  - 小庭 佐藤 澤作
  - 仙田 高野 三代治
  - 高倉 高橋 千代治
  - 仙田 登坂 コマ
  - 大倉 中条 寿平
  - 仙田 高橋 関太郎
- 二、販売期間  
三十七年十二月十五日から  
三十八年 五月十五日まで

### ふるさと

近年都会で、たかなすし、が大好評を得ているそうでございます。たかなすしとは紀州の一葉村に産する高菜の漬物です。し飯をつつた、その素朴さと風味が注目をあびております。そこで考えますに、高菜類に属する当地の野沢菜はたか菜の味の最高峰と申しても遜色なく、加うるに名高い魚沼米なる良質味の米の産地、これですしを作ればかたかなすしにまさるともおもたぬものができるのではなにかと思ひ試作いたしましたところ、まことに風味深い野沢菜し飯ができてまいりましたので、町内有志各位にも試作をおすすめするし飯でございます。

- ・すし飯 米一升に同量の水
- ・合わせ酢 酢一合砂糖大サジ六
- ・塩大サジ二、三化学調味料

すし飯をにぎり菜で包む。その他次のような具を飯にまぜたり又のせたりしてにぎり菜でつつむ。

- ▽白魚(又は細かいこを甘酢で洗ったもの)▽厚焼卵のそき切り
- ▽塩鮭の背肉のうす切り

干瓢しいたげ人参の煮たもの。その他持ち合わせの材料を使ってよくふるとおもよろしく、菜は古漬かりのほうがよいようでございます。ナンダ毎日食べるツケ菜のすしかといわれる方は一度運来の客におすすめてください、つややかな米に香を添えておもむき深い愛の里のつきせぬ味わいが育ばれることとございませう。

A

### 民生委員を改選

さる十二月一日付で全国いっせいに民生委員の改選が行われ、本町でも二十三名(定員)の方が改選されました。これから三年間社会福祉のよき相談相手としてお骨お頼り願うことになったわけですが、民生委員の職務はきわめて重要な役割をもっており、民生委員であると同時に児童委員をあわせ行なうことになっております。その職務の概要は、①生活保護の問題 ②児童福祉の問題 ③身体障害者の問題 ④母子世帯の問題 ⑤精神薄弱者福祉の問題 ⑥売春防止の問題 ⑦その他地域における社会福祉諸活動等で社会福祉の全般にわたっております。これらの複雑な業務はひとり民生委員の活動のみでは到底目的を達成するに困難でありますので一般の方がたから格段のご理解とご協力を期待してやみません。

なお今回改選された委員は左のとおりであります。

- 氏名 担当地区
- 須藤 寛蔵 下原・根深・原田
  - 大久保 武義 野口
  - 田中 利八 仁田・塩辛
  - 片桐 狂太 木落・寺ヶ崎
  - 南雲 源次 中仙田・桐山
  - 川崎 豊吉 室島・小腰
  - 高橋 鉄治 高倉・舞谷
  - 茂野 寅一 藤沢

### 公民館移転

### 開館は十五日から

新位置 現在の定時制分校  
電話番号 一六七番

- 次に永年民生委員として活躍されました、高橋与平(赤谷)、金子権三郎(岩瀬)、丸山チヨ(原田)の三氏が十一月三十日をもって退任されることになりました。三氏とも在任中は地域社会のよき相談相手として要保護世帯の自立更生、季節保育所の施設、児童遊園地の設置、要保児童の指導育成及び子ども会の指導等社会福祉活動の中心となつてご尽力くださいました。その功績はまことに大きなものがあり、今回退任されるにあたりそのご労苦を謝し今後とも何分のご指導を願ういたします。
- 高橋三代治 田戸・越ヶ沢
  - 小川 角治 赤谷
  - 小川 富治 岩瀬・大倉
  - 大野 辰平 大白倉
  - 江口 義一 小白倉
  - 富井 源蔵 上野・下平新田
  - 渡貴 栄一 新町新田・田代
  - 押木 久助 元町・星名新田
  - 高橋 久蔵 三領・小根岸
  - 渡辺 理平 山野田・中島町・四郎兼
  - 丸山 タイ 東善寺・下平・永
  - 小海 大成 久公舎・発電所通
  - 納沢 菊松 上町・中央町・田
  - 羽鳥 仁平 中・寺尾・中屋敷
  - 中村 直治 沖立・神社町・学
  - 坪山・霧条・鶴吉 平見



11月13日第5回新潟県新生活運動推進大会が新潟市公会堂で行なわれ、大会行事の一つ「しあわせ音頭」舞踊コンクールの中越代表として川西町が推せんされ第三位に入選した。  
(写真は出場メンバー)

- さようなら  
11月のきりぎりす
- 一月 六日 消防出初式
  - 一月 二日 初議会
  - 二月 二日 町民音楽大会
  - 二月 二日 NHK指定学級全
  - 二月 二日 町民音楽大会
  - 三月 一日 川西中学校校歌制定
  - 三月 一日 町民スキー大会
  - 三月 一日 本会議(二日間)
  - 三月 二日 全町嘱託員会議
  - 三月 三日 慰労会(川西中)
  - 三月 五日 成人式(川西中)
  - 三月 五日 公明選挙推進協議会発足
  - 三月 六日 永年勤続者表彰式
  - 三月 七日 参議員議員選挙投票日
  - 三月 五日 町議会

- 八月 八日 川西町連合婦人会
- 八月 二日 交通安全町宣言
- 八月 五日 都市社会教育大会
- 八月 二日 川西町青年祭
- 八月 二日 日開農薬センター
- 八月 二日 日開農薬センター
- 八月 二日 橋小水道竣工式
- 八月 二日 民よう流し
- 九月 二日 消防演習 川西中
- 九月 二日 三十六年度決算審査会
- 九月 二日 第四回川西町青少年実績発表大会
- 九月 二日 健康優良児表彰式
- 九月 二日 松葉溜池建設工事
- 九月 二日 松葉溜池建設工事
- 九月 二日 千手小給食施設竣工式
- 九月 二日 仙田宿舎完成祝
- 九月 二日 中央公民館引越し
- 九月 二日 八日民生委員評令伝達式
- 九月 二日 一日うまい米作り表彰式

・クイズによる学習の持ち方  
その昔、エジプトの怪物スフィンクスが「朝に國本足、昼に二本足、夕に三本足で歩く動物、しかも足数の多い程弱い動物は何ぞや」と道行く人に問いつけたところになその歴史は始まるという。わが国においてはなぞは信仰に付随した修業として始まったというが、農村の民俗にはなつかしい存在である。幼いころの冬の夜長を寝床の中や炬燵で生寄りや兄弟から、削れば削るほど大きくなるものナニニ(穴)・明るくなれば暗くなるものナニニ(ランプ)・きれいなればなるほど汚くなるものナニニ(ぞうきん) などと掛けかけられたころの郷愁はつきない。なぞなど他愛のない子ども遊びと一笑に付されるかも知れないが、これは一種の言語遊戯であり、想像性をもちた子どもたちの思考力を養う教育法であったわけである。未知なるものに対する人間の好奇心、自己の力をテストしてみたいという意欲、あたるかどうかという成功への期待、これらはまことに本能に根ざして発せられた教授法であり、学習法であったといつては言いすぎであらうか。

しかしなぞも時代の推移とともに大きく変わってきた。「魁梧奇偉物」「絵がまし」「クロロス・ワード」などと、そして、マス・コミュニケーションの発達とともに最近は一「クイズ」とよばれて大きく生長してきた。今日ではラジ

オに雑誌に非常なまでに盛んである今日のクイズの隆盛は懸賞という好ましくない陰の力にあやつられていたためかもしらぬが、やはりこれが人間の本能に根ざしているところに力強いものがある。クイズといふことばについて冗談とか「からかい」「ひやかし」などという意味である。アメリカでは試験、一定の質問による試験などの意味に使われる。このことばの起りについては確實なことはわからないが、一説にはダブリン劇場の支配人ダブリン氏が、今から二十四時間以内町の話題となり、なぞとなるような意味のない新らしいことばに賞金をかけ彼ら自らの劇場の壁に「クイズ」とテヨクでかいて賞金を得たということからクイズがなぞとか試験という意味になったという。学習とクイズ

青年団にする、青少年クラブにするサークルに集まる若い人たちの気持ちには最初から学習のための集まるなどという意識は心算に人はきわめて少ない。まず集まること彼氏や彼女の顔を見ることひそひそ話やバカ話を花を咲かすことが楽しいのである。助けあうこと、はげましあうことがうれしいのである。自由と共鳴共感のたぶらう空気を吸うことで伸び伸びとできるのである。いわば、たまり場的な雰囲気のみが若い人たちの結びつける心理的な紐帯である。わたしはこのたまり場の集団から学習集団への成長を促すホルモンとして「クイズ」をとりあげた。(農業クイズ集参照)



### 冬の火災予防対策

一年中で火災の最も多い季節はいつでしょうか。十二月から四月までと答えられた方が正解です。例年同じことばかり書いてあきらめられると思いますが、火災も毎年同じような原因で増加しているからです。川西町の本年の火災発生件数は全焼はなく、ボヤが四件ありました。いずれも冬から春にかけての発生であり、本年もあと十数日になりましたが、十二月二十日を中心として火災の発生が非常に多くなっています。火災予防に十分注意していただき、明るい正月を迎えられるよう次の注意事項をあけてみました。

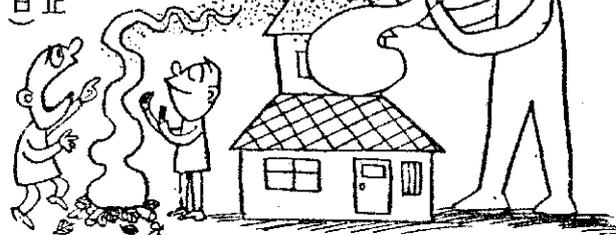
まず冬は寒いために火を使う機会が非常に多いことです。コタツ取り灰を特に取り上げてみました。

たき火

火事

「寒くなると  
おいらもこれが  
一番さびびり」

歳末の火災防止  
(1日~31日)



- 一、コタツ
- ①必要以上に火を入れない。
  - ②下掛け、座布団などが踏み込まれて着火する例が多いので金網は必ずかける。
  - ③靴下などをやぐらの機にかけるなど危険なもの干しはしない。
  - ④灰はためすぎないこと。
  - ⑤留守にするときは火もよく埋め、布団をとっておく。
- 二、取り灰
- ①完全に消火したものを捨てる
  - ②燃えない容器に入れる。
  - ③取り灰の上に燃えやすいわら工品等は下けておかない。
- 三、その他の注意
- 年末年始に作業場等使ったときは火の仕末を十分にしておく。雪で煙突がこわれないようにする。掃除も定期的に行なう。

### 十二月分給食献立表

(千手小)

- 三日 フルーツバター のっぺり煮
- 四日 シヤム 切こんぶ煮
- 五日 バター カレーシチュウ
- 六日 大学ポテト とうふ汁
- 七日 コール 野菜のうま煮
- 一〇日 酢豚 フルーツバター
- 一日 やき魚 おろし 吉野汁
- 二日 コール やきそば
- 三日 若草きんとん かき玉汁

### 戸籍の窓から

うぶ声—御すこやかに

- 押木 秀樹 秀治長男 発電所通
  - 窪田 隆行 英男長男 伊友
  - 小林 紀子 欣造二女 中央町
  - 田中 勝一 義雄長男 下平
  - 中村 雅一 一郎長男 坪山
  - 馬場 雄子 光雄二女 元町
  - 藤巻美代子 実三女 堀辛
  - 藤巻 裕子 男 長女 野口
  - 増田 博一 宏一長男 室島
- 昇天—御めい福を祈る
- 小川 東司 赤谷 二〇
  - 中村 濱吉 大白倉 五八
  - 高橋 寛治 室島 七八
  - 佐藤 睦子 鷗谷 〇
  - 金子太郎 上野 六六
  - 渡辺重太郎 仁田 八〇
  - 水森 友吉 仁田 七六
  - 田口初太郎 木落 八一
  - 酒井 セキ 寺尾 七〇
  - 柄沢 ツネ 沖立 八五

### たかさご—御円満に

- 新婦 清水 三郎 寺尾
- 新婦 星野ヒサ子 野口から
- 新婦 小川 賢郎 岩瀬
- 新婦 藤田 義幸 根深
- 新婦 清水寿美江 下平新田から
- 新婦 佐藤 真雄 藤沢
- 新婦 丸山け子 長野市から
- 新婦 増田 富夫 室島
- 新婦 山宮 モト 分水町から
- 新婦 高橋 清 中仙田
- 新婦 富田多津栄 東 京から
- 新婦 高橋 重信 中仙田
- 新婦 星野 京子 群馬県から
- 新婦 山岸 ツシ 三桶から
- 新婦 田口 正敏 木落
- 新婦 高橋 全子 坪山から
- 新婦 清水 一義 木島
- 新婦 木村三千子 仁田から
- 新婦 喜多 保 東番寺
- 新婦 五十嵐美保子 野口から
- 新婦 引間 芳子 中仙田
- 新婦 樋口 安栄 中深見から

### 川西のおかあさん

この文を書く気になったのは、ある日、四年ぶりでこの町にやって来たという富山の若いクスリ屋さんに話しかけられたからなので。大学で社会学を専攻したというHさんは、全国の現場を廻って町や村の実態をつかみ、そこに住む人たちの生活や考えかたを知って将来は会社の幹部になるといふ立場の人でした。以下は、そのHさんがうまばりにしてくれた川西のおかあさんです。

### 社会教育

この町のおかあさんたちが交わったのは驚きました。以前はどことなくメソメソしていました。ことばもそんなに話さず、へた、ある意味ではあきらめにも似た暗さがありましたが、こんどは同じい人たちに会ってももう感じないのです。感性的であった考えかたが、この数年で理性的なものに変わって来たのだとボクは思いました。

数年前、玄關に立って「ごめんください」を言ったときには、「ジツ天、富山だぜ」といってそれっきりにされたものでした。あとは台所のほうへ行っつき会って「お、お、お、ときどき、大声で泣く子を叱る声でしたもの。」「お茶ぐらい出せや」といわれてしぶしぶはたに來てする、こんなおほかあさんが大半でした。

世間話につき会ってくれる人があっても、その受け答えには限界がありました。話の内容もグチめいていました。「みんなまわりがいけないんです。でも、それはし

かたのないことです。わたしさえガマンしていれば」というような話で終わっていました。そういう人だれからも、明るいという感じは受けとれなかったのです。それが、こんどは違うのです。先様から「おはいりください」といってくださるのです。人に言われなくてもお茶を出してくれるのです。「どうぞ」ということばやしぐさに教養があるのです。子どもを叱るときも、どう言っ叱るかを考えてから叱るのです。

話の相い手にもなってくれるのです。自分という人間を、客観的に見つめるだけの余裕も持っているのです。近所のつわさや人の悪口になると話したがらないのです。それでいて話題が豊富なこと、ボクなどタジタジするおかあさんになっっています。暮らしの中のなやみや半モンを、みんなで解決しようとして努力しているらしいのです。みんな驚くことばかりでした。

丸久旅館に泊った夜のことです。近所の奥さんたちが婦人学級の相談をしていました。グループの集まりをいつにするとか、発表者がたれたとか、こんどの司会はあるんだとか、メモをとりながら話し合っているのです。こんなおかあさんたちを羨しいと思いました。

今後、たゆみない学習を積み重ねてくださるなら、おかあさんたちが生活の主体者として、その能力を十分に発揮できる日がくることでしょうか。もちろん、よそに比べるとまだまだ考えさせられることもあります。でも、悪口を言わせることは許してください。クスリが売れないと困るのです。

# 校内放送の設備ができて

仙田中(二分)三年 高橋ヨシ子

「ただいまマイクの試験中」という声がスピーカーから流れてきた。私たちはいっせいにそのほうを見た。私たちは顔と顔を見合わせ、ニツコリした。先生から話を聞いたときから、私たちはこの日がいづくるかと思っていた。それが今、私たちの目の前のスピーカーから流れている。なんとうれしいことでしょうか。私たちはこれで二度めの喜びです。一度は映写機、今度は放送設備。ほんとうにうれしいことです。

私たちが学校にはいつてから長いことばかり続くような気がしますが、体育館の完成、テレビやピアノがあるし私たちにそれはそれはうれしいことでした。でも、よその学校でスピーカーから、きれいなメロディが流れていると、やっぱりうらやましかったです。

だが、もううらやましくなんかない。りっぱな放送設備が皆様ののおかげでできあがりしました。旧仙田村には私たちの学校にだけしかはいつていないと聞きました。放送設備がなかったときには、一つのことを連絡するにしても、一つ一つの教室をまわって伝えなければなりません。それでも徹底しませんでした。しかし、今度からはそんな心配は絶対にありません。ほんとうにうれしいことです。

また、映写機も非常にうれしいものです。無かったときには四半

口も離れた隣りの学校から借りてきて写さなければなりません。一番初め写して見たときの気持ちは今でも感激を持って、胸にしまっています。

新潟県でもまだ数台しかはいっていないという良い映写機とすばらしい放送設備 私たちは、この

## おれいのことば

白倉小学校三年

中村かおる

東京のみなさん、えいしやきやほうそうのきかいを買ってください。いまして、ありがとうございまして。うちの人もたいへんよろこんでいます。わたしもまいにち学校で、たのしくみています。

この間も「あおぞらどうじ」と「はくちようものがたり」を見てたいへんおもしろいでした。また、十三日の日は先生といっしょにほうそうしつをみたりしました。そしたらよくできていたので、びっくりしました。そして、小学校の教室にも中学校の教室にも運動場にもスピーカーがついているので、みんながよろこんでいます。こんどはひとりごうそうしつでおはなしすると、どこであそんでいてもきこえるので、たいへんべんりです。

これからいままでもよりもっといっしょけんめいに勉強して

よい環境のなかで勉強できるとはなんとしあわせなんだろうと思えました。そしてこの良い環境を作ってくれた東京のみなさん、いろいろご心配くださった映写機購入促進協議会のみなさんと先生がたに心からお礼を申しあげたい気持ちでいっぱいです。

私たちは、あとわずか学校生活は終わりますが、このめくまれた環境の中でいっしょけんめいに勉強して、りっぱな社会人になりたいと思います。

## 郵便局だより

### 郵便物の事故は必ず申告しましょう

郵政省では、郵便物がまちがいに早く届くよう努めています。もしみなさんの郵便物が着かなかったり、中身が足りなかったりその他事故が起きたときは、書留に限らず普通郵便物であっても、すぐ近くの郵便局へお申し出ください。差出人ばかりでなく、受け取り人からも申告ができますし、この郵便局でもお申し出を受けて特別の調査により調査してその結果をお知らせすることになっております。なお、書留郵便物につ

いては取り扱い経路によって正確に調査し、万一事故があるときは損害賠償することになっております。また普通郵便物については、相当期間かかる場合もあります。普通扱いの事故だから調べてもわからないだろうとお考えにならずその事故の原因がどこにあるかを調査いたしますのでつとめてお申し出ください。

**普通郵便物への現金封入はやめましょう**

普通郵便物(普通運達も含む)へ現金を封入して差し出しているものがかなりあるようですが、これは郵便法で禁止されており現金は必ず現金書留で出しましょう。また小為送金送金の方法もありますから郵便局へご相談ください。

**年賀はがき(特別取り扱い期間)**

十二月十五日(十二月二十八日郵便局側では二十二日)までにお出しくたさらないと、元日に間に合わない場合もあります。早めにお出しくたさい。

## 山羊のと殺も許可を受けて

年末を控え、自家用と殺も多いことですが、無許可で自家用と殺をして処罰を受けることなどないよう、十日町保健所長からの注意をお知らせします。

▼自家用と殺の許可条件

自己及び同居者の食用を目的とし、自家生産のもの、または購入後三カ月以上自家で飼養したものを。

▼自家用と畜の範囲

子牛、羊、山羊・山羊

▼現地のと殺及解体の許可範囲

仙田、橋地区一円と大字上野、下平新田を除いた上野地区、(平手地区、上野、下平新田は十日町橋上手の市営と殺場とと殺と解体をしなければならぬ)

▼手数料など

検査手数料 無料

と殺使用料及び解体料 約三〇〇円くらい

▼違反の罰則

三年以下の懲役または五万円以下の罰金

と殺日、その他の不明の点などは役場衛生係にお問い合わせください。

## 町の掲示板

- 門松カードの配布とりやめ
- 毎年配布しておりました門松カードはことしから配布をとりやめさせていただきますのでお知らせします。
- 造林事業で表彰
- 埴田克治(宅島)氏は十一月十九日十日町市で行なわれた中魚沼治山協会の席上で、永年造林事業につくした功績により表彰されました。
- 役場の年末年始
- 二十八日は御用納め、二十九日から三日までお休み。
- 出納係から
- 十二月の会計は二十六日締め、二十九日支払。
- 新年の俳句募集
- ①新年雑詩を五句以内②しめきは本月末③はがきで中央町の太白山風韻あて投句のこと④入選句をかわにし俵置に掲載する。



太田日南風選

八海の雪を気にして困急ぐ村中に菊花展あり文化の日

元町 金子 鉄 平

一日のこと語りつつ柿をむく焔火を守る祖母の小さくおられけり 小白倉 江 口 凡 石

類白の薄日を浴びて枝うつり

本方可 壺 堂

押し撫でて大きく丸き火鉢かな 温亭

句の表面に出ているのは火鉢の形だけであるが、押し撫でて心暖かくなる思いがある。表現の誇張もなく深いものがあるのがこの句の価値である。

**後記**

毎晩九時を過ぎると初冬の闇の中から準備うおの号の汽笛がひびいてくる。十日町(新瀧間)の準備が走りはじめ一カ月余、へき地魚沼も県都へ二時間、出張の日帰りでできるようなった。東京へは四時間で行かれるという開けたに今昔の感にたえない。なにごんにもへき地でございますから、とのあいさつも通じなくなつたように、時代のテンポに合わせた頭の切りかえをしつかりとやっ除夜の鐘を聞きたいものだ。珍らしく災害もなくくまされた一年だったことを感謝し、新しい年の十一月二十二日、初詣ふる。十二月七日、小春日うららかなり